

News Better

世界に賛美と福音を

工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ

<http://akworship.com/>

Vol.62

SUMMER
2016



AKWM

(旧、工藤篤子音楽ミニストリーズ)

十字架の 身代わりのみわざ 2

工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ 代表

工藤 篤子



しかし、主は、私たちのすべての咎を
彼(イエス)に負わせた。(イザヤ書53章6節)

私のこれまでの信仰の歩みの中で最も大きな転機となった出来事は、1997年に突然私の体を襲った突発性関節炎リュウマチでした。当時、私は、ハンブルクの開拓教会の伝道師として仕えていましたが、人を裁き、絶えず不平不満をつぶやくような者でした。

しかし、憐れみの主は、私の体と心を砕き、その傲慢と不信仰の罪を示してくださったのです。以下、すでに何度も証しして来たことですが、悔い改めの日々が何か月も続いたある日、心の目に、十字架に架かったイエスさまが見えてきたのです。そして、全身血で真っ赤に染まったイエスさまは、優しい声でこうおっしゃいました。「篤子の罪はわたしが十字架で流した血潮によってすべて赦された。十字架を負ってわたしに従いなさい」。主が十字架の道へと招いてくださった時でした。心の奥底から神への賛美がわき上がるようになったのも、この時からです。

2000年、主は、賛美伝道の働きへと導いてくださいました。私の使命は、神への賛美と共に、十字架につけられたキリストを伝えることであると思いました。ですから、プログラムの中心に、必ず十字架の歌とその証しを据えました。私が負うべき十字架とは、その時も続いていたリュウマチの痛みでした。それが、主が私に与えてくださった十字架の道であり、そこで語ってくださる主の宝のようなメッセージを皆さんに証ししつつ、福音を伝える働きを続けてきました。

しかし、次第に、私が負うのは、まず主の十字架でなければならぬと気づかされるようになりました。その十字架がもたらしてくれるものの一つが癒しであると気づかされた時、私は、気づく限りの罪を告白して、大胆に、リュウマチの癒し

を主に祈ったのです。それ以来、リュウマチの症状は全く出なくなりました。(もちろん、前号に書かせていただいたように、癒しの主権は神にありますから、すべての病が癒されるわけではありません。)そして、癒しだけでなく、神の祝福のすべてが十字架にあること、つまり、十字架以外に私たちに必要なものは何もないことに気づかされるようになりました。

キリストは聖なるものとされる人々を、一つのささげ物によって、永遠に全うされたのです。(ヘブル10:14)

永遠に「全うされた」、とは、「完全にされた」「完成された」、ということです。ですから、イエスは十字架上で、「完了した(全うした、完成した)」と宣言されました。それは、キリストが、私たちの罪とその咎(罪の結果もたらされるもの)——裁き、傷、呪い、貧しさ、神との断絶(神の怒り)、死——を受けてくださったこと。それに代えて、赦し、義、癒し、祝福、豊かさ、和解、平安、いのちを与えてくださったということです。それが、神の子とされた私たちのStand(ドイツ語: position, 立場)ですが、同時に、私たちがさまざまな試練を通過しつつ、成長とともに、信仰によって増し加えられていくZustand(ドイツ語: condition, 状態)であることを理解しなければならぬと思います。

「しかし、私たちは十字架につけられたキリストを宣べ伝えるのです。」(1コリント1:23)と語ったパウロのことばが、今、絶大なる栄光をもたらすものとして心に響いています。この全ての祝福を与えてくださったキリストの尊い十字架の身代わりのみわざを、この秋、ブラジル、日本、ハワイで、神への感謝と賛美の歌と共に、大胆に証しさせていただきたいと思っています。

台湾レポート



5月9日～16日の台湾コンサートツアーでは、初めて台湾東部(屏東、台東、鶴岡、花蓮)を廻らせていただきました。台湾には現在16の原住民部族が残っていますが、その多くが東部に住んでいます。そして、何と原住民の60%がクリスチャンです。従って、東部には多くの原住民教会があります。今回のツアーでは、4つの台湾人教会と2つの原住民教会で奉仕させていただきました。台湾の原住民伝道は10年来の願いでしたので、今回、主がその祈りを実現させてくださったことを、心から感謝しています。

原住民教会

阿見族の鶴岡教会のコンサートでは、聖霊に押し出されるように、日本統治時代、日本が原住民を迫害したことへの謝罪のことが口をついて出て来ました。会場から拍手が沸き上がりました。私の謝罪を受け入れてくださったこと、また、御霊にあって一つとされたことを感じ、賛美と証しの間中、特別な主のご臨在を感じた、忘れられないコンサートとなりました。

ツアー最後の奉仕は、太魯閣(タロコ)族の姫望記念教会の礼拝での賛美と証しでした。この日は、主の不思議な導きを感じ、賛美の合間に、キリストの十字架の身代わりのみわざについて、特に、小羊の打ち傷によって私たちに癒しが与えられたことを語りました。賛美を聞きながらタオルで涙をぬぐっておられた牧師先生が、「今日は、聖霊が特別に働いてくださった。もう一度、『よき力に守られて』を歌ってください」と言って来られました。私が賛美する間、先生は、人々の心と体の病の癒しのために、まず悔い改めを呼び求め、癒しの祈りをなさいました。そして、確かに、主が、多くの方々に癒しを与えてくださったようでした。



台湾台東キリスト教会コンサート

チーワンおばさん

原住民に福音が広がっていったきっかけになった、姫望(チーワン)おばさんのことをお分かちしたいと思います。日本が台湾を統治していた1930年頃、3度目の結婚に破れて自殺しようとしていた太魯閣族の姫望さんは、花蓮で伝道師に出会い、信仰を持ちました。その後神学校で学び、花蓮に戻って人々に福音を伝えました。彼女のメッセージは実にシンプルでした。「まことの神様ただひとり。皆さん、早く信じましょう」(これは、以下のように、歌になっています)。



そうやって、多くの太魯閣族が救われて行きました。花蓮港のそばに住んでいたチーワンおばさんは、山間の部落まで出向き、洞穴でメッセージを語るようになりました。後にその洞穴のそばに教会が建てられ、彼女の名に因んで、姫望記念教会と名付けられました。

神はチーワンおばさんに多くの霊的賜物を与えられました。彼女が手を当てると病は癒され、悪霊は追い出されました。ある日、隣の部族の病人が彼女のもとにやってきて、「病を治してくれたら、何でもあげる」と言いました。しかし、チーワンおばさんは、「何もいらぬ。でも、私はあなたにイエスをあげる」と言うと、彼の病は癒されました。その男性は、即座に仕事をやめて聖書を学び、伝道師になりました。福音は、このように、チーワンおばさんを通して、太魯閣族の間だけでなく、他の部族の間にも広がって行きました。

また、同時に、多くの宣教師が原住民伝道に尽力しました。日本人宣教師の中では、父が原住民に殺されて後、医師として原住民の村に入り、村人を無料で癒し、福音を伝えた井上伊之助師(1882-1966)は、今もなお原住民から篤い尊敬を集めています。

このニュースレターは、次の方々のご支援をいただいています。

**VIP関西センター
テナントビル**

地下鉄北浜駅②号出口正面

〒541-0041 大阪市中央区北浜2-3-10
TEL.06-6232-1185 担当者:梅津

医療法人
クリニック石田

診療科目 / 耳鼻咽喉科

〒558-0055
大阪市住吉区万代3-12-5
ハイムスタイン2階

南海高野線、帝塚山駅下車 / 徒歩10分
阪堺軌道鉄道土町線、帝塚山3丁目下車 / 徒歩5分
大阪府立急性期医療センター前 / 北に徒歩3分

TEL.06-6676-1700
院長:石田 稔
CLINIC ISHIDA
<http://www.conet.ne.jp/~clinic-ishida/>

産科・婦人科・小児科
医療法人社団グロリア会
月寒グロリアクリニック

院長 平島 功二

〒062-0053
札幌市豊平区月寒東3条16丁目3番8号
TEL.011-854-4103 FAX.011-854-4127

株式会社
富川グロリアホーム

「終の住みか」を備えるために
労しています。

〒055-0006
北海道沙流郡日高町富川南4-2-49
TEL.01456-3-4000

ミクニカイ株式会社
水とエネルギー

本社 〒532-0033
大阪市淀川区新高3丁目7番9号
TEL.(06)6394-0671
FAX.(06)6394-0710
E-mail:sakamotot@mikunikikai.com
URL:<http://www.mikunikikai.com>

ベルギーに近い、オランダ南部の田舎に休養にきませんか?
グループでも個人でも、自炊でも食事付きでもOKです。

CFC
Christian Fellowship Center
みどりの牧場
John & Asako Payton

Wilhelminalaan 25, 5512BJ Vessel, The Netherlands
Tel. +31(0)497-592090 Fax. +31(0)497-591389
e-mail: asakot@payton.nl asakotwama@gmail.com

**atelier
phos**
DESIGN < WORK

ビデオ撮影・編集・ダビング
ホームページ作成 etc

トライアート
背野 康英

〒574-0073
大阪府大東市緑が丘1-20-1-409
TEL.072-874-9107
E-mail:tryart@ab.auone-net.jp

ビデオ撮影・編集・ダビング
ホームページ作成 etc

トライアート
背野 康英

〒574-0073
大阪府大東市緑が丘1-20-1-409
TEL.072-874-9107
E-mail:tryart@ab.auone-net.jp

宗教改革時代の賛美 4

「イエスはわが喜び」



1999年、故・岳藤豪希先生の指導する合唱団、エバングリウム・カントライから、ドイツに住む私に、旧東ドイツ公演の協力参加依頼がありました。曲は、J.S. バッハ(1685-1750)のモテット「イエスはわが喜び」(Jesu, meine Freude)、カンタータ51番のソロ、シュッツのモテット等でした。当時、教会の伝道師をしていた私は、公演まであと2週間という短い期間、必死で曲をさらうことになりました。しかし、初めて歌うバッハの「イエスはわが喜び」を練習しながら、喜びと感謝と感動に包まれ、涙が溢れ、信仰が燃え立たせられ…主の臨在に触れる至幸の時となったあの期間を、今も忘れることが出来ません。

モテットとして仕上げました。また、バッハは、「血潮したたる」同様「イエスはわが喜び」をこよなく愛し、同じメロディーを受難曲にも挿入しました。

「イエスはわが喜び」ほど、イエスこそ喜びであること、また、イエス・キリストにある者の勝利を、敵の前に高らかに宣言している賛美歌はないと思います。日本語訳は、讃美歌第二編93番、教会福音讃美歌422番です。是非、皆さまにも賛美していただきたい一曲です。

イエスはわが喜び

Johann Frank 1618-1677, Johann Crüger 1598-1662, 私訳

1. イエスはわが喜び。わが心の牧場。イエスはわが誇り。
あぁ、何と長い間、何と長い間、
私の心は恐れおののき、あなたを慕い求めてきたことか。
神の子羊、私の花婿、
地上ではあなた以外に愛するお方はいない。
2. 私はあなたの傘の下で、古き敵の猛威から守られる。
サタンよ、雷鳴を響かせよ。敵よ、齒ぎりせよ。
私にはイエスが共におられるのだ。
今雷鳴が轟き、稲妻が走り、罪と地獄が脅かしても、
イエスは私を覆ってくださる。
3. 年を経た竜よ、死の淵よ、恐怖と共に襲って来るがよい。
世よ、騒ぎ立ち、躍り上がるがよい。
私はここに立ち、賛美する。全く確かな平安の中で。
神の力が私を守ってくださるから。
地と深淵がどれほどぞわめこうとも、
お前たちは、その口を閉じなければならない。

(つづく)

※「イエスはわが喜び」の歌詞は、実際には6番まであります。4~6番の歌詞は、クリューガーの生涯と合わせて、次号で紹介させていただきます。



ライブツヒトマス教会前のバッハ像

モテット(motet)とは、フランス語の「ことば」(mot)から取られた音楽様式の一つです。それは主に、聖書のことばからのポリフォニー(合唱)形式によるものです。バッハがカントール(音楽師)を務めていたライブツヒトのトマス教会では、礼拝でモテットが二曲ずつ歌われていました。非識字者が多かった時代、言葉を理解する「霊」と、情感が働く「たましい」の両方に語りかけるモテットは、音楽説教としての大きな役割を担っていました。

「イエスはわが喜び」は、もともと、賛美詩人ヨハン・フランク(1618-1677)と、賛美作曲家ヨハン・クリューガー(1598-1662)によって書かれたものです。フランクの詩「イエスはわが喜び」に付けられたクリューガーの単純なメロディーは、どのような歌詞を付けても人の心に深く語りかける不思議な力を持っています。バッハは、この「イエスはわが喜び」に、ローマ書8章のみことばを絡ませ、みことばに応答する信仰告白の

工藤 篤子 著書&音楽CD 好評発売中

ご注文、お問い合わせはAKWM事務局まで

**教会や少人数グループでの
イスラエルツアーを
計画しませんか。**

ご予算や人数に応じて、ご要望にお応えできる聖地旅行を企画、見積もりいたします。充実、お手頃価格、手作りのツアーをなさいませんか。
お気軽にご相談ください。

**(株)ホーリーランド
ツーリストセンター**
担当:石田
TEL:06-6226-1307
FAX:06-6226-1308
E-mail:htcjr@mifty.com

New! 賛美セミナーⅡ
DVD 2枚組
15年11月7日大阪セミナー録画
定価4,000円(税込)

賛美セミナーⅠのアイテムと合わせてご注文される場合、特別価格でお求めいただけます。詳しくは次頁をご覧ください。

賛美セミナーⅠ
DVD 2枚組
13年11月4日大阪セミナー録画
定価4,000円(税込)

賛美セミナーⅠ
CD 4枚組
13年11月9日東京セミナー録音
定価4,000円(税込)



賛美セミナー DVD、CDも好評発売中!

Come To Me
定価3,000円(税込)

たましいの歌
定価3,000円(税込)

讃美 Adorar
定価1,500円(税込)

讃美のこころ
定価1,600円(税込)



Schedule 工藤篤子 2016年秋、冬スケジュール

9月	
5日(月)～	ブラジル・ツアー 9/7 ブラジリア(ブラジリア州) 9/10-11 カンボ・グランジ(マツ・グロソッ・ド・スウ州) 9/13 タンガラ・ダ・セーハ(マツ・グロソッ州) 9/17 午前:マリリア(サン・パウロ州(SP)) 午後:ポンベア(SP) 9/18 ポンベア(SP) 9/20 ボルト・アレグレ(リオ・グランジ・ド・スウ州) 9/24 ソロカバ(SP) 9/25 カンピーナス(SP) 9/27-28 サン・ジョゼ・ドス・カンボス(SP) 10/1 サン・パウロ市(SP) 10/3 「賛美セミナー」(サン・パウロ市/SP)
10月	
7日(金)	来日予定
16日(日) 13:30～	交流ぶらざ いっぽいっぽ山田コンサート 連絡先:080-5832-4132
23日(日) 15:00～	奈良基督教会(日本聖公会)130周年・記念コンサート 「よき力に守られて」工藤篤子讚美のコンサート 連絡先(教会):0742-22-3818
28日(金) 19:00～	第15回AKWMチャリティー・コンサート ～熊本地震支援～ 連絡先(AKWM、「ミッション・宣教の声」方):06-6226-1334
30日(日) 16:00～	宝塚栄光教会チャペルコンサート 連絡先(教会):0797-73-6076

11月	
10日(木) 10:30～ 13:00～	JECレディーズ研修会 連絡先(堺福音教会):072-290-0888
13日(日) 14:30～	在日大韓キリスト教会大阪北部教会 「愛の美りコンサート」 連絡先(教会):06-6371-1914
18日(金)～28日(月)	ハワイ・コンサートツアー
12月	
5日(月) 18:45～	プレイズ・ワーシップ 連絡先(ミッション・宣教の声):06-6226-1334
7日(水) 10:30～	ライトハウス宇部キリスト教会 「一足早いクリスマスコンサート」 連絡先(教会):0836-39-5025
8日(木) 11:00～	虹ヶ丘キリスト教会「婦人クリスマス」 連絡先(教会):0833-72-2052
18日(日) 14:00～	舞鶴福音教会(日本イエス・キリスト教団) 「クリスマス・チャリティーコンサート」 連絡先(教会):0773-64-5568
25日(日) 19:00～	千代田福音教会 「クリスマス・キャンドルサービス」 連絡先(教会):0721-52-6608

15th AKWM CHARITY CONCERT

第15回チャリティー・コンサート/熊本地震支援

地中海ソプラノ 工藤篤子 ピアノ 野田常喜

今年4月、熊本を中心とする大きな地震がありました。14日と16日の大きな揺れと、続く2000回以上の余震のため、49名の方が亡くなったほか(関連死は20名とも)、多くの建物が被害を受けました。現地の方々の緊張と疲労は募るまま、復興の努力が続けられています。会堂が全壊、半壊の被害に遭った教会もあります。

AKWMでは、今年のチャリティー・コンサートの収益金を信頼のおけるキリスト教団体を通して、熊本地震被害の復興支援のためにおさげします。みなさまのお祈りとご支援、ご協力をお願いいたします。



2016年10月28日(金)
開演 7:00pm (開場 6:30pm)
会場: 北浜スクエア(VIP関西センター 9F)
チケット: 1,500円

お問い合わせ: Tel.06-6226-1334
AKWM事務局(「ミッション・宣教の声」方)



New! 賛美セミナー II DVD

2015年11月に大阪で開催した賛美セミナーIIのDVD(2枚組)が出来ました。ご希望の方は、オンラインストア、メール、電話、ファックスにてお申し込みください。一部4,000円です。また、賛美セミナーIのDVDあるいはCDと合わせて購入される場合は、特別割引価格として合計6,000円になります。こちらは、オンラインストアではなく、メール、電話、ファックスでお申し込みください。

内容

1. 詩篇から学ぶ賛美(詩篇32篇より)
2. 賛美のいけにえ・キリストの賛美
3. ロックの起源・歴史とその影響
4. いろいろなリズムと歌詞に即した奏楽(ピアノ:野田常喜)



賛美セミナーII DVD 2枚組
15年11月7日大阪セミナー録画
定価4,000円(税込)



工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ 事務局
Atsuko Kudo Worship Ministries

AKWMの伝道活動は、皆様のお祈りと献金と奉仕によって成り立っています。ご支援くださる皆様をこの活動の一員と考えています。この活動がますます主に用いられ、宣教が進みますように、どうぞ一員としてご参加、ご支援ください。

〒541-0041 大阪市中央区北浜2丁目3番10号
VIP関西センター5F「ミッション・宣教の声」方
TEL.06-6226-1334 FAX.06-6226-1336

口座が新しくなりました

郵便振替口座 00930-1-165955 「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」
銀行振込口座 三菱東京UFJ銀行 瓦町支店(店番003)
普通預金0133752 「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」

※三菱東京UFJ銀行にお振り込みくださる場合はお名前が表示をお願いいたします。あるいは事務局にご連絡いただけますなら感謝です。

✉ メールマガジン登録受付中!

office@akworship.com

メルマガ購読を希望される方や、その他のご連絡などは、上記のメールアドレスまでお願いします。メールマガジン、ニュースレターは、下記のホームページでもご覧いただけます。

Japanese HP <http://akworship.com/>

English HP <http://www.fgec.de/atsuko>

AKWM事務局のメールアドレスと日本語URLが新しくなりました